

愛知県公立大学法人中期目標

目次

前文

- 第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織
 - 第2 教育研究等の質の向上に関する目標
 - 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標
 - 第4 財務内容の改善に関する目標
 - 第5 教育及び研究並びに組織及び運営に対する自己点検・評価及び情報の提供に関する目標
 - 第6 その他業務運営に関する目標
- 別表

前文

(県が法人を設立する目的)

県が愛知県公立大学法人（以下「法人」という。）を設立する目的は、知の拠点として、広く知識を授けるとともに、深く学芸を教授研究し、地域にとって有為な人材の育成を図り、教育研究の成果を県民・地域に還元することを通じ、県民の生活及び文化の向上に貢献することである。

(法人化後の取組)

愛知県立大学と愛知県立芸術大学を設置・運営する法人においては、設立から現在に至るまで、平成18年に策定した大学改革基本計画で示された大学の設置目的や将来像を踏まえ、第一期中期目標期間には、愛知県立大学と愛知県立看護大学の統合、学部・学科の再編により、基本的な教育研究体制の整備を進め、第二期中期目標期間には、愛知県立大学におけるグローバル人材の育成、愛知県立芸術大学における文化財保存修復研究所の開設など、教育研究の質を向上・深化させる多くの取組を積み上げ、愛知県にとって有為な人材の育成、教育研究成果の地域への還元など、県立の大学に求められる役割を担ってきたといえる。

また、理事長、学長のリーダーシップの下、自主的・自律的に大学運営を推進し、意欲的な取組を数多く進めてきた。

(大学を取り巻く状況と課題)

一方で、大学を取り巻く状況は、18歳人口の減少、グローバル化に伴う経済競争の激化、ビッグデータ、I o T、A Iなどの技術革新の急速な進展を始め、常に変化を続けており、それに伴い、大学も社会のニーズに合わせた改革を求められている状況にある。こうした中、大学としては、自らの特色や魅力を高め、他大学と差別化を図るなど、優れた学生を確保するための取組を一層推進するとともに、グローバルに活躍できる人材や新たな情報技術に対応できる人材の育成、留学生の受入・支援の拡充、産業界との連携の促進など、課題解決に向けた取組を積極的に進めることが必要である。

このような状況を踏まえて、第三期中期目標期間には、以下の目指すべき方向性を示す。

(第三期における基本的な方向性)

法人が自らの強みや特色を生かした機能強化を図り、人材育成等を通じて地域のために貢献するという役割を十分に果たすために、組織の在り方や教育研究の方向性について検証を行い、必要に応じて見直しを図るなど、変化する社会状況に十分に対応していくことを目指す。

また、地域を支える人材の育成、地域との連携や地域への貢献を推進するために、自治体、他大学、産業界などとの連携の一層の強化を目指す。

このような視点から、第三期中期目標期間は、「社会の変化に的確に対応し、地域を担う人材の育成や地域への貢献を一層推進する期間」とする。

1 目指すべき姿

各大学の強みや特色を生かし、地域の持続的な発展に貢献することにより、存在感と信頼感のある「地域の重要な教育研究機関として活躍する大学」を目指す。

2 分野別の取組の方向性

(1) 教育

各大学の強み、特色、社会的役割を踏まえ、学部間連携の強化を図るとともに、社会の変化に対応した教育内容とするため、必要に応じ、専攻やカリキュラム、学生定員の見直し、外部人材の登用促進、教員の再配置などを行う。

また、グローバル社会で活躍できる人材の育成を強化するため、外国語による教育、海外留学の促進・留学生受入の拡充などを行うとともに、学生の多様なニーズに応じ、学修、生活、キャリア形成など学生生活全般にわたるきめ細やかな支援を行う。

(2) 研究

高度で挑戦的な研究、学部間連携型の研究など、多様な専門分野を有する大学としての特色を生かした研究を推進するとともに、研究成果を国内外に広く発信する。

(3) 地域連携・貢献

愛知県や他の自治体、他大学、産業界、地域の文化施設などとの多様な連携を強化し、芸術・文化、教育、医療・福祉、産業など、多岐にわたる分野で地域の発展に貢献する。

(4) 法人運営

理事長、学長のリーダーシップの下で教育研究や地域連携・貢献を最大化できるよう、ガバナンス体制の点検・見直しを行うとともに、社会や地域のニーズ、外部有識者等の意見を適切に反映するなど、効果的・効率的な法人運営を行う。

3 各大学における方向性

(1) 愛知県立大学

県立大学が果たすべき役割は、高度な教育研究を展開し、地域にとって有為な社会が求める人材を育成するとともに、教育研究の成果を地域社会に還元することである。そのためには、学部間の連携による教育研究を推進し、IT・AIなどの技術革新やグローバル化などに対応できる人材を育成することや、自治体、他大学、産業界などとの連携を強化することにより、教育研究のレベルの更なる向上を図るとともに、地域の持続的な発展に貢献する。また、学部・学科等の在り方についても一層地域のニーズに沿ったものとなるよう検証を行い、必要に応じて見直しを図る。

(2) 愛知県立芸術大学

芸術大学が果たすべき役割は、引き続き、芸術文化に携わる優れた人材（芸術家・研究者・教育者その他芸術を支える担い手）を育成すること及び地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することである。そのために、芸大のブランドを確立し、

知名度のより一層の向上を目指すことが重要である。

また、大学と地域を共に発展させることを目指し、地域の芸術文化イベントとの一層の連携や地域のニーズに芸術面から貢献できる教育研究を推進する。

第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織

1 中期目標の期間

平成31年4月1日から平成37年3月31日までの6年間とする。

2 教育研究上の基本組織

この中期目標を達成するため、別表に掲げる大学、学部、研究科を置く。

第2 教育研究等の質の向上に関する目標

1 愛知県立大学

(1) 教育に関する目標

ア 教育内容及び教育の成果等に関する目標

多言語教育や外部人材の登用促進などにより、国際性と地域への視点を兼ね備えた新たな価値を創出する人材、IT・AIなどの技術革新に対応できる人材を育成する。

教養教育においては、予測困難な事態に対応できる力、自らの考えを効果的に発信し主体的に行動できる力を涵養するための教育を5学部間の連携により推進する。専門教育においては、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に沿って、社会の要請に的確に対応したカリキュラムの充実、改善を図る。

また、全学的な取組として、各学部・研究科の持つ強みや特色を生かし、地域の諸課題に積極的に取り組み、地域社会や国際社会の発展に貢献する人材を専門分野を横断して育成する。

さらに、大学院教育においては、高度専門職業人や研究者等、多様化するグローバル社会の中核となる人材を育成する。

イ 教育の実施体制等に関する目標

大学の強みや特色を生かし、社会の情勢に対応した教育研究を展開するため、学生定員、教員配置などの教育実施体制をはじめ、教育研究組織や教育研究環境等に関する検証を行い、必要に応じて見直しを図るとともに、学部間の連携や学外との連携を積極的に推進する。

ウ 学生への支援に関する目標

学生の多様なニーズに応じた学修支援・生活支援・キャリア支援等を実施するとともに、学生の自主的な活動を支援し、学生が安心して意欲的な学習を進めることができるよう、学生生活全般にわたるきめ細やかな支援を行う。

エ 入学者選抜に関する目標

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、目的意識や学習意欲の高い学生を確保するため、入学者選抜方法の見直しや効果的な入試広報活動を実施する。

(2) 研究に関する目標

グローバルな視野を持ちながら、地域社会の要請を踏まえ、地域の発展に貢献

する学際的な研究、多様な主体と連携した研究、高度で挑戦的な研究等を推進し、その成果を広く発信する。

(3) 地域連携・貢献に関する目標

愛知県や他の自治体、他大学、産業界、地域社会等との多様な連携を充実させるとともに、教育、医療・福祉、産業など、多岐にわたる分野で、教育研究を通じて県民の生活と文化の向上、地域の持続的な発展に貢献する。

(4) その他の重要な目標

グローバル社会で活躍できる人材や地域のグローバル化に貢献できる人材の育成を一層推進するため、海外大学との交流、外国語による教育の充実を図るとともに、海外留学の促進・留学生受入の拡充などを行う。

2 愛知県立芸術大学

(1) 教育に関する目標

ア 教育内容及び教育の成果等に関する目標

特色ある高度な専門・実技教育を推進するとともに、芸術基礎・教養・外国語教育の充実を図り、芸術文化に携わる優れた人材（芸術家・研究者・教育者その他芸術を支える担い手）を育成する。

特に大学院教育においては、世界に通用する芸術家や芸術文化の発展に貢献する各分野のリーダー的役割を担うことができる人材を育成する。

イ 教育の実施体制等に関する目標

(ア) 大学の強みや特色を生かし、時代や地域のニーズに対応した教育研究を展開するため、専攻やカリキュラムの見直し、教育内容・方法に関する点検・評価を実施し、教育力の向上を図る。

(イ) 学生が安心・安全な環境で芸術に打ち込むことができるよう、学内施設や設備等の整備・充実を図る。

ウ 学生への支援に関する目標

学生の多様なニーズに応じた学修支援・生活支援・キャリア支援等を実施し、学生が安心して意欲的な学習を進めることができるよう、学生生活全般にわたるきめ細やかな支援を行う。

エ 入学者選抜に関する目標

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、芸術活動への意欲が高く、実技の基礎能力を備えた学生を適切に選抜する方法を策定し、実施する。

(2) 研究に関する目標

芸術家集団としての教員による活動や特色ある質の高い研究を推進し、その成果を地域に還元するとともに、国際的にも発信する。

(3) 地域連携・貢献に関する目標

愛知県や他の自治体、他大学、産業界、文化施設等との多様な連携を推進し、地域文化を担う人材の育成、地域の芸術文化の発展に貢献する。

また、大学と地域を共に発展させることを目指し、演奏会・展覧会等、教育研究成果の積極的な発信を行うとともに、県民が芸術に親しむ機会の創出に努める。

(4) その他の重要な目標

ア 留学・国際交流支援に関する目標

大学のグローバル化推進に向け、海外大学・機関等との国際交流を推進するとともに、学生の派遣・留学生の受入、教員や学生の国際的な芸術活動を支援する。

イ 大学広報の強化に関する目標

大学の活動情報を積極的に発信し、芸大のブランド、知名度の向上に向けた戦略的広報活動を展開する。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 戦略的な法人・大学運営に関する目標

理事長、学長のリーダーシップの下で、大学の強みや特色を生かし、教育、研究、地域連携・貢献の機能を最大化できるガバナンス体制の点検・見直しを行うとともに、社会や地域のニーズを的確に反映し、幅広い視野での自律的な運営改善に資するため、外部有識者等の意見を適切に反映するなど、効果的・効率的な法人・大学運営の推進に努める。

2 教育研究組織の見直しに関する目標

社会情勢の変化や地域のニーズに対応し、各大学の強み・特色を最大限に生かした教育研究を展開するため、教育研究組織を検証し、必要に応じて見直しを行う。

3 人材の確保・育成に関する目標

教育研究活動及び大学運営の質の向上と活性化に向け、人事諸制度の適切な運用、必要に応じた見直しを行う。

また、全教職員のワーク・ライフ・バランスの取組を推進するとともに、女性教職員の定着・活躍に向けた組織的な取組を推進する。

4 事務の効率化・合理化等に関する目標

より効率的、機動的な組織運営、教育研究のサポート機能の向上のため、組織や業務の見直しなどを通じ、事務の効率化、合理化を図る。

第4 財務内容の改善に関する目標

外部研究資金や寄附金の獲得など自己収入増加に向けた取組を強化するとともに、効率的な運営により経費節減に努め、安定的な財務運営を実現する。

第5 教育及び研究並びに組織及び運営に対する自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

1 評価の活用に関する目標

自己点検・自己評価や外部評価等を定期的に行い、評価結果を公表するとともに、教育研究及び業務運営の改善に活用する。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標

大学の教育研究、社会貢献（地域貢献）や業務運営等の活動情報を積極的に発信し、大学のブランド力の向上のための戦略的な広報活動を展開する。

第6 その他業務運営に関する目標

1 施設・設備の整備・維持管理及び安全管理に関する目標

大学施設の老朽化対策、計画的な維持管理など施設マネジメントを実施するとと

もに、学生・教職員の安全安心の確保と危機管理体制の点検・見直しを行う。

2 法令遵守に関する目標

法令等を遵守し、適正な法人運営を行うため、ハラスメント・研究不正等の防止、情報セキュリティ対策等のコンプライアンスの徹底を図るための取組を推進する。

別表（大学、学部、研究科）

・愛知県立大学

学 部	外国語学部 日本文化学部 教育福祉学部 看護学部 情報科学部
研究科	国際文化研究科 人間発達学研究科 看護学研究科 情報科学研究科

・愛知県立芸術大学

学 部	美術学部 音楽学部
研究科	美術研究科 音楽研究科